

■秋田実 漫才の台本を通じて、新方向を開拓し、多数の漫才師を育成した。

あきたみのる

日露戦争終 1905= 大阪市東区玉造で、砲兵工廠に勤める林佐市郎の次男に生まれる。本名、林廣次。この年、姉が夭折。

伊藤博文暗殺 1909= 4歳：この頃、家は大国町交差点近くで煙草屋を営む。

韓国併合 1910= 5歳：祖母の話し相手として、芝居道楽の思い出を聞き、

明治天皇没 1912= 7歳：清堀小学校入学。

父親が演劇・演芸ファンで、活動写真、演芸小屋によく連れて行かれ、

第一次大戦始 1914= 9歳：

21ヶ条要求 1915=10歳：この頃、まだ漫才専門の小屋はなく、高級万歳などと看板のかかった小屋を時折のぞくなどするうち、

母いしのガンバリで、

本格政党内閣 1918=13歳：旧制今宮中学(現今宮高校)に入学。

この間、5つ上の兄が病死したため、結局一人っ子的になる。

原敬首相暗殺 1921=16歳：

関東大震災 1923=18歳：旧制大阪高校(現大阪大学)入学。同期に長沖一・上道直夫がおり、落第した藤沢恒夫も同学年となる。入学と同時に“五年間在学”を宣言する。

護憲三派圧勝 1924=19歳：イギリス推理小説を翻訳して初稿料。この頃、ひとかどの演芸ファンとなり、笑い話に大いに関心。

日本時代始 1926=21歳：翌年にかけて、社会科学への関心と接近があったと思われる。

金融恐慌 1927=22歳：[辻馬車]に、林熊王のペンネームで、小説「夢と白粉」「借と貸月」を発表。大阪高校社研を再建し、実践面でも大阪合同労組に出向く。この間、宣言通り2度落第し、

共産党事件 1928=23歳：卒業。東京帝国大学文学部支那哲学科入学し、新人会に入会。長沖一と本郷の長栄館に下宿。新人会幹事会の指示で日本金属労働組合へ出向。帝大雑誌連盟の左翼の再編成に加担、雑誌{大学左派}に参加。

世界恐慌 1929=24歳：{大学左派}に小説「嘘」を発表。{大学左派}を{十月}と改題後、小説「犬〜或る工場の一記録」を発表。

海軍軍縮条約 1930=25歳：{戦旗}編集部長となる。{犯罪科学}創刊で編集を手伝う。{集団}創刊で編集に携わり、小説「踏査圏ゼネスト」を発表。{戦旗}に森一の筆名で「工場実話小説首切り反対だ!」を発表。

満州事変 1931=26歳：大阪朝日新聞の白石凡の紹介で、横山エンタツと初めて対面、漫才作者への転機となり、以後、吉本興業に出入り。大宅壮一・服部之絳らの援助で、諸雑誌に雑文を書き始め、とくに大宅に才能を見出され、

五一五事件 1932=27歳：

国際連盟脱退 1933=28歳：大宅壮一が創刊した{人物評論}に様々なスタイルで執筆。BKラジオのニュースコント台本の制作を手伝う。

帝人疑獄事件 1934=29歳：*{婦人公論}に初めて秋田実の筆名で、「モダン万歳恋愛禁止法」を発表。吉本興業第一回特選漫才大会で、秋田の台本によるエンタツ・アチャコ「早慶戦」が人気を博し、初めてラジオの寄席中継が行われる。正式に入社し、芸芸部に所属。大阪に帰郷する。

芥川直木賞始 1935=30歳：最初のラジオ用漫才台本「家族天気図」を書く。以後、漫才台本を精力的に書き始め、ネタのセリ市がはじまる。吉本興業芸芸部創刊の雑誌{ヨシモト}の編集長となる。

二二六事件 1936=31歳：吉本興業第一回新作発表漫才研究会。京都の酒屋の娘房江と結婚。秋田原作で、吉本・PCL製作の映画「呆れた連中」「これは失礼!」(ともにエンタツ・アチャコ主演)封切。

日中戦争始 1937=32歳：続けて「心臓が強く」「僕は誰だ」封切。「ユーモア読物集百貨店漂流記」処女出版。吉本興業に新人養成機関の創設を提唱し、{漫才学校}を設立、校長となる。秦豊古の紹介で小林一三を知る。

健保+総動員 1938=33歳：紙の制約・編集部長の召集による不足等のため雑誌{ヨシモト}を廃刊。以後3年、平井房人と共同編集で漫才台本集を数十冊発行。早くも「漫才全集」刊行。長女が誕生。

第二次大戦始 1939=34歳：小林一三の宝塚ショー結成と、第一回公演を助成する。

大政翼賛会 1940=35歳：大宅に誘われ満州訪問。「漫才日記」出版。次女が誕生。慰問映画「銃後の大阪」のシナリオ執筆。

日米開戦 1941=36歳：この頃、「漫才講座笑ひの研究」連載開始。三女が誕生。*新興キネマ演芸部へ移り、総合企画部長となる。

年金+総武装 1944=39歳：*新興キネマ演芸部が独立して新興演芸(株)となり、新作オンリーを打ち出し、精力的に新作漫才を発表。

敗戦 1945=40歳：長男が誕生。

新憲法公布 1946=41歳：満州演芸勤務のため、満州へ渡る。

新憲法施行 1947=42歳：新京(長春)より帰還。家族の疎開先である福井へ行く。

極東裁判 1948=43歳：妻の実家(京都)へ帰る。漫才師達も大阪へ戻り始め、{MZ研進会}が発足、相談役となる。諸雑誌に執筆。

三大事件 1949=44歳：雑誌{ユーモア・ダイジェスト}創刊、編集主幹となり、いろいろなスタイルの文章を一人で執筆。

朝鮮戦争始 1950=45歳：放送開始の生番組「上方演芸会」台本を担当。以後、ラジオ番組の仕事に長沖一とのコンビで活躍。

独立回復 1951=46歳：漫才PRのため、新聞{上方演芸}創刊。関西喜劇の先駆的番組「気まぐれショーボート」放送開始。

メゲ-事件 1952=47歳：一家で大阪阿倍野の借家に転宅。小林一三の助力で宝塚新芸座を創立。「お笑い青春デパート」放送開始。

テレビ放送始 1953=48歳：「アチャコ青春手帳」「エンタツのちょびひげ漫遊記」放送開始。漫才のPR新聞「青春演芸場」を編集。

自衛隊発足 1954=49歳：新井座、秦豊占の協力を得て東京第一回公演開催。

55年体制始 1955=50歳：「漫才学校」「青春サーカス」放送開始。

国連加盟 1956=51歳：「お好み風流亭」「夫婦善哉」放送開始。{NHK演芸台本研究會}を創設。長沖・藤沢とともに審査委員となる。

なべ底不況 1957=52歳：父が死去。上方演芸(株)を創立し、「漫才教室」を放送開始後、大阪松竹会館で漫才大会開催。

インスタントラーメン 1958=53歳：母が死去。*ミスワカナ追悼興行を開き、大成功。「やりくりアパート」放送開始。上方演芸と新生プロを合併して、松竹新演芸(松竹芸能の前身)設立して、重役となり、現場人生に一区切り。

美智子妃 1959=54歳：「放送演芸加年」連載。この頃から、新聞・雑誌への連載、執筆が増える。「奥様お耳をどうぞ」放送開始。

安保闘争 1960=55歳：「上方日曜演芸館」「漫才読本」放送開始。

たいたい病始 1961=56歳：「東西漫才クラブ」放送開始。大阪市民文化賞。

全国総合計画 1962=57歳：「モダン寄席」放送開始。

TV宇宙中継始 1963=58歳：{大阪新聞}に、「漫才の笑い〜六十年の楽屋ウラ」を長期連載。

いざなぎ景気 1966=61歳：{関西新聞}に「大阪の味」を連載。{NHK演芸台本研究會}解消で、メンバーを引き継ぎ{漫才作家くらぶ}を設立させ、主宰。ラジオ大阪の上方漫才大賞設定、実行委員長に就任。

震ヶ関ビル 1968=63歳：「漫才作家くらぶ」、吉本興業(松竹芸能)と、台本の製作、提供を提携。雑誌「漫才」を創刊。

全共闘 1969=64歳：「オチの研究」を連載。松竹芸能を退社。紫綬褒章受章。

大阪万博 1970=65歳：大阪芸術大学の非常勤講師となり、芸能史などを講義。

ドルショック 1971=66歳：大阪芸術大学芸術学部教授となる。

日中国交回復 1972=67歳：「笑いの創造」刊行。胆石で入院。CBSソニー三枚組LP「上方漫才変遷史」を監修。{読売テレビ}が制定した上方お笑い大賞に、富士正晴・小松左京・田辺聖子とともに審査委員となる。

石油ショック 1973=68歳：「秋田実名作漫才選集1・2」を刊行。大阪天王寺村芸能文化保存会結成、顧問となる。肺真菌症で入院。

ケランブール事件 1975=70歳：シナリオ学校に大衆芸能科の新設、名誉校長。「わが心の自叙伝」の連載開始。「私は漫才作者」刊。NHK放送文化賞受賞。「秋田先生所蔵の昔の漫才のレコードを聴く会」が発展し、毎月一回無料で開催。

田中角栄逮捕 1976=71歳：ビクターより発売のLP「上方お笑い七十年」を監修。勲四等瑞宝章。「日本語と笑い」刊。

JALハイジャック 1977=72歳：ポリドール発売のエンタツ・アチャコの漫才のLPレコードを監修後、入院し、大網腫瘍(悪性リンパ肉芽腫)のため、_没した。

読売テレビが「上方お笑い大賞」に漫才作家を対象にした秋田実賞を制定。

富岡多恵子「漫才作者・秋田実」、「この人どんな人」、